

① 基本事項

事業名	新庁舎整備事業			科目	2	1	7	課名	総務課
								政策情報係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	人と地域をつなげる			全項目					
施策	ふれあいと交流ができる村づくり								
事業の目的	議会、村民合意により、将来負担が少なく、災害時にも業務継続可能な新庁舎の建設を進める。			事業の目標	議会、村民合意形成 基本設計の完了 実施設計着手				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
◎	設計業者の選定			式	1	1	100%		
◎	基本設計の完了			式	1	1	100%		
◎	実施設計への着手			式	1	1	100%		
◎	議会、村民説明と合意形成			式	1	1	100%		
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		21,166千円		22,432千円		
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円		
	合計		23,116千円		24,382千円		
		正規職員人件費単価	6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円		
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%		31.2%	7,000千円		
	一般財源	5.5%	1,166千円	68.8%	15,432千円		
	特財	94.5%	20,000千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	21,166千円	100.0%	22,432千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	新庁舎基本方針の決定から業者の選定、基本設計及び実施設計とも予定どおり進められた。基本設計の段階から周知(説明会・広報等)し、村民の意見を参考にしながら進めてきた。ただ、村民説明会の出席者が少なかったため、周知方法の工夫など検討が必要。		
評価委員評価	公共性	A	村民の防災拠点と避難施設の役割を担っており村の一大事業であることから、建設工事の途中経過など完成に至るまで随時周知することが望ましい。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	A		
	総合	A		

① 基本事項

事業名	(早稲田)大学連携事業		科目	2	1	6	課名	総務課
							係名	政策情報係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略				
基本目標	若者のアイデアを生かした村づくり			移住定住の促進				
施策	若者のアイデアを生かした村づくりの推進			交流拠点等の充実				
事業の目的	村及び集落の活性化のため、早稲田大学と連携協定を締結し、学生たちの活動や提案により、地域の活性化を図る。また、公認サークルわせだいらへの支援等を通じて、学生の自由な活動による地域活性化を図る。			事業の目標	学生提案の事業化 地域(協力集落等)の活性化 卒業後における来村者数の増加 関係人口の増加 10人/年			
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率	
○	プロフェッショナルズワークショップの運営(5人×2チーム、延べ13日)			回	1	1	100%	
○	わせだいらの来村受入(延べ33日、69人来村)			回	10	12	120%	
○	わせだいら塾の運営(参加中学生26人・学生13人)			回	1	1	100%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		533千円		380千円
	概算正規職員人件費	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円
	概算人件費計	0.3人	1,950千円	0.3人	1,950千円
	合計		2,483千円		2,330千円
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	100.0%	533千円	100.0%	380千円
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円
	合計	100.0%	533千円	100.0%	380千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	提案の内容にもよるが、短期的な効果よりも長期的な視点が重要。わせだいら等、学生自主活動への支援等も行い、活動を継続させていくことが重要。「関係人口」の増加という観点からも、地域全体の効果につながっている。		
評価委員評価	公共性	B	事業による地域活性化や効果につながる具体的な目標指標が必要。また、学生の来村数が増加する対策を講じ、学生と村民のかかわりの充実と村民への受益を期待する。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
	総合	B		

① 基本事項

事業名	元気づくり・村づくり支援金事業			科目	2	1	6	課名	総務課
	第6次総合振興計画				まち・ひと・しごと創生			政策情報係	総合戦略
基本目標	全項目				全項目				
施策									
事業の目的	地域の自主的とり組を積極的に支援し、事業に取り組む地域や団体等の活性化を推進する。			事業の目標	支援事業による地域等の活性化 5事業 元気づくり支援金事業申請補助 5事業				
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率		
○	元気づくり支援金事業申請等の事務補助			事業	5	4	80%		
○	村づくり支援金事業事務			事業	5	8	160%		
○	元気づくり・村づくり支援金事業の周知・PR			回	2	2	100%		
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		1,500千円		953千円		
	概算正規職員人件費	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.0人	千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.2人	1,300千円	0.2人	1,300千円		
	合計		2,800千円		2,253千円		
正規職員人件費単価			6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債 過疎	100.0%	1,500千円	94.4%	900千円		
	一般財源	0.0%	千円	5.6%	53千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	1,500千円	100.0%	953千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	支援金により、協働の機運が醸成され活力が生まれ、維持された。元気づくり支援金優良事例表彰をNPOあつまれむらびとが受賞し、北信地域振興局管内で、一定の評価が与えられた。		
評価委員評価	公共性	A	団体等が取り組みやすくするため、申請等の事務支援をもっと前面に出していいと考えます。自主的活動による地域の活性化を期待します。	
	公平性	B		
	有効性	B		
	効率性	B		
総合	B			

平成	29	年度	事務事業評価シート	計画	中間	実績	事業番号	8
----	----	----	-----------	----	----	----	------	---

① 基本事項

事業名	姉妹都市交流促進事業			科目	2	1	6	課名	総務課	
								係名	政策情報係	
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略						
基本目標	全項目			全項目						
施策										
事業の目的	交流事業等により、木島平村の自然や特産品等を広くPRするとともに、各種交流を推進することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を推進する。			事業の目標	両市村相互理解の増進 新規交流事業の開催 民間独自交流の拡大 交流推進職員による交流人口等拡大					
区分	具体的な事務事業の内容			単位	計画	実績	執行率			
○	宿泊助成制度の実施(利用者数)			人	80	22	28%			
○	新規交流団体の開拓			団体	2	0	0%			
○	村の農産物・特産物等の流通確立			社	1	1	100%			
○	調布市内におけるPRイベント(来場者498人)			回	1	1	100%			
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		
								#DIV/0!		

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績			
概算事業費	事業費		2,680千円		2,348千円		
	概算正規職員人件費	0.8人	5,200千円	0.6人	3,900千円		
	概算嘱託・臨時人件費	0.1人	150千円	0.0人	千円		
	概算人件費計	0.9人	5,350千円	0.6人	3,900千円		
	合計		8,030千円		6,248千円		
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価		1,500千円	
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円		
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円		
	一般財源	100.0%	2,680千円	100.0%	2,348千円		
	特財	0.0%	千円	0.0%	千円		
	合計	100.0%	2,680千円	100.0%	2,348千円		

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大	C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる	D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可
	H29	評価の根拠・説明・考察		
担当	B	姉妹都市交流推進員の配置や各種イベント及び交流事業の実施により、姉妹都市交流の発展に向けて相互理解の増進につながっている。社会や時代に即した見直しを行いながら地道に継続していくことが必要。		
評価委員評価	公共性	A	イベント事業以外でも団体等の自主的な活動も増えており、本来望まれる交流の形や深まりが広がっている。ただ、一般村民が参加できる調布ツアーは、花火大会のみであることから別のツアーの検討など今後より一層の交流活動の活発化につながるきっかけづくりも必要と考える。	
	公平性	A		
	有効性	A		
	効率性	B		
	総合	A		

① 基本事項

事業名	調布・木島平交流クラブ事業			科目	款 2	項 1	目 6	課名 係名	総務課 政策情報係
	第6次総合振興計画			まち・ひと・しごと創生 総合戦略					
基本目標	農を基軸とした交流の村づくり			都市交流の促進					
施策	滞在型観光の推進			姉妹都市、友好都市を核とした農村体験交流事業の推進					
事業の目的	調布・木島平交流クラブ事業を支援・サポートするとともに、交流クラブの事業拡大と会員相互の交流を推進し、姉妹都市交流事業の活性化を推進する。			事業の目標	交流クラブの会員数増 交流クラブ事業における来村者数増 交流事業の開催数増 会費納入者合計 100人				
区分	具体的な事務事業の内容				単位	計画	実績	執行率	
○	総会の開催				回	1	1	100%	
○	役員会の開催				回	3	5	167%	
○	来村ツアーの開催(春28人、秋33人、晩秋46人 計107人)				回	3	3	100%	
○	交流クラブツアー来村者(計画はH28実績)				人	122	107	88%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	

※ 区分 ◎:重点 ○:継続 ★:新規

② 事業コスト

		H29計画		H29実績	
概算事業費	事業費		339千円		288千円
	概算正規職員人件費	0.6人	3,900千円	0.4人	2,600千円
	概算嘱託・臨時人件費	0.1人	150千円	0.1人	150千円
	概算人件費計	0.7人	4,050千円	0.5人	2,750千円
	合計		4,389千円		3,038千円
	正規職員人件費単価		6,500千円	臨時・嘱託人件費単価	1,500千円
財源内訳	国・県支出金	0.0%	千円	0.0%	千円
	起債	0.0%	千円	0.0%	千円
	一般財源	86.7%	294千円	86.1%	248千円
	特財 交流クラブ会費	13.3%	45千円	13.9%	40千円
	合計	100.0%	339千円	100.0%	288千円

③ 評価

評価基準	A	目標ほぼ達成、拡充し継続、効率良く効果大		C	大幅な改善の上継続、効果は認められていない	
	B	一部検討の上改善し継続、効果認められる		D	廃止又は中止、効果認められないため継続不可	
	H29	評価の根拠・説明・考察				
担当	B	年3回のツアーでは、合計107人の村内宿泊につながり、木島平村の活性化にも繋がっている。会員の硬直化が課題だが、ツアー参加者を中心に、新規会員の加入が見られる。				
評価委員評価	公共性	B	新規会員(特に若年層)の加入がクラブの活性化にもつながることから大きな課題となる。具体的な対策実施が必要。			
	公平性	B				
	有効性	B				
	効率性	B				
	総合	B				